



センターに収蔵されている「朝鮮国信使絵巻(文化度)」

長崎県対馬歴史研究センター(対馬市)

対馬市厳原町今屋敷668-2 対馬博物館2階
TEL0920-52-3687



長崎県対馬歴史研究センターでは、調査・研究、保存・修復、国内外の研究機関との連携、情報発信を主要事業として、対馬博物館と連携しながら、対馬の文化財の保存・活用を行っています。対馬ならではの歴史や文化に触れてみませんか？



センターの取り組み

○収蔵資料

国の重要文化財に指定されている「対馬^{そうげもん}宗家文書」を中心に約10万点の資料を収蔵しています。

○調査・研究

対馬に関する歴史資料の調査研究を推進し、新たな歴史的事実の把握に努めています。

○保存・修復

貴重な歴史資料を次世代へ継承していくため、安全かつ安定的に保存管理するとともに、修理などを実施しています。

対馬市へのアクセス

- 長崎空港から対馬空港 飛行機で35分
- 福岡空港から対馬空港 飛行機で35分
- 博多港から厳原港 フェリーで4時間40分

センターへのアクセス

- 対馬空港から車で約17分
- 厳原港から車で約3分

長崎県の施設をシリーズでご紹介します

対馬博物館

特色ある資料を通して、古代から現代まで、朝鮮半島など大陸の国々や日本本土と活発な交流をしてきた対馬の歩みを紹介しています。

□観覧料/一般 550円 高校・大学生 330円 小・中学生 220円 ※特別展は別料金

□開館時間/9:30~17:00(最終入館16:30)

□休館日/毎週木曜(祝日の場合は翌平日)、12月28日~1月3日 ※臨時休館の場合あり

【公式ナビゲートキャラクター】

公式ナビゲートキャラクターの「^{こしたかしえもん}越高獅子右衛門」と「^{せいじししがた}みたけさん」は「^{けんてん}青磁獅子形硯滴」と「^{けんてん}キタタキはく製標本」から生まれました。キャラクターのモチーフとなった収蔵品は、どちらも平常展示でご覧いただけます。



越高獅子右衛門



青磁獅子形硯滴



キタタキはく製標本

